



■ 地域社会への貢献と身近な選挙に注力を

シニアクラブ幹事の井上です。

今年度、5年振りに地元、坂東市
辺田第二地区の区長として4月か
ら来年度3月迄の2年間務めること
になりました。



思い起こせば5年前の時も国勢調査と重なり、地区の100数十世帯を周りました。今年も国勢調査の年に当たり区長として調査のお手伝いをします。更には7月20日に決まった参院選の投票立会人として、近くの投票所に一日詰める予定です。

▶ 数年前からは地区の防災組織の役員も仰せつかり、月一回の会議に参加しています。このメンバーは、民生委員、介護士、防犯パトロール隊他の方々です。そして、年に一度は防災研修や近隣地区の防災施設の見学などを行っています。



写真は市の公民館で開催された防災研修の様子ですが、市内七重地区防災担当の住民出席者から避難場所の集計結果について報告があり、市の担当者との間で積極的な意見交換が行われていました。

▶ 私の日常的な活動として地区防犯パトロール隊に属し、毎朝7時半から15分程度、児童の登校時間に合わせて旗振りを行っています。場所は17m道路と呼ぶ新しくできた道で、見通しが良くて車もついスピードを出してしまいそうなところ。子供たちの安全には十分に気を使いながらその任に当たっています。

▶ 私自身としてこのような地域活動が生活のルーティンとなって、生きがいともなっています。

一個人として地域活動の重要性を自負していますが、多くの人たちが同様に地域に目を向け、力を合わせて安全や環境の向上に取り組んでいければ、と思っているところです。微力ながらこれからの2年間、区長として活動をしていく所存です。

▶ 個人一人の力は微力でも、そして地域への影響はわずかでも、皆が協力すれば大きな力となりその影響は広範囲に及ぼすことができます。

話は一転しますが、参院選投票開票が7月20日に実施されます。私はJAM茨城シニアクラブの役員としての活動もしています。

JAMが組織内候補「郡山りょう」氏を国会に送り込むべく全力を挙げて支援活動を展開する中、シニアクラブも応援しています。

上の写真の席に「郡山りょう」氏が座る日を期待して皆様と共に応援しましょう。



■ Online 会合報告 (2025. 06. 24)

今回もテレビや新聞で報道される世の中の諸問題を眺めながら話し合いを持ちました。



報告は次を参照 <http://jvc-senior.com/20250624online3.pdf>

■ 松之山温泉ツアー報告 (2025.05.29-30)

シニアクラブとしては久しぶりの宿泊旅行企画でした。参加者12人、自家用車5台で効率よく周辺の観光地や博物館を巡ることができました。

参加者ほとんどが後期高齢者でしたが、事故もなく無事終了したことが何よりの成果でした。参加者からは「また次も！」との話が出ています。今回参加されなかった皆さまも次の機会にご期待ください。報告は次を参照 <http://jvc-senior.com/page356.html>

■ コメ問題に一考

- 江戸時代は武士の俸給、戦後は配給統制、そして近年の減反政策などコメは常に為政者の重要管理項目となっていました。結果、生産者である農家から流通、さらには消費者自身に至るまで古い感覚や体質を残してきたのではないのでしょうか。
- 備蓄米が5kg2,000円前後で市場に出されたといえどお目に掛かる機会もなし、店には5,000円もするようなものが売れずに陳列されている中、あるスーパーで民間輸入のカルローズ米(カリフォルニア米)の売り出しがありました。購入したのは国産米20%ブレンドものでしたが、炊き方も味も国産と特に変わりはないようでした(個人の感想です)。
- 価格は700円/kgほどで、現状のコメ価格として少しは安いと感じますが、実は341円が関税で、価格の約半分を占めている状態です。

トランプ氏は「日本はコメに700%の関税をかけている！」といっていました。輸入価格が1kg当たり50円ほどならその通り。しかし実際にはカリフォルニア米といえどもそこまで安くはできていないようで、これはトランプ氏の言いがかりでしょう。

- 日本人にとってコメは主食。食料安保の問題から「コメは自給」を貫くのは当然のことと理解します。

従来からのコメ政策見直しは喫緊の課題となっていると思います。

【追記】6月27日に国が無関税で輸入するミニマムアクセス米の内、3万トンの入札を実施し406円/kg(税込み)で即完売したとのこと。例年業務用として売られていたようですが、今回はこれが市場に出てくるようです。

この市場価格は如何ほどとなるのでしょうか。

■ 都議選結果を見て

6月22日に都議会選挙が実施され、この結果は7月の参院選の行方を占うものといわれています。

獲得議席数	前回	今回	増減
都民ファースト	31	31	0
自民党	33	21	-12
公明党	23	19	-4
共産党	19	14	-5
立憲民主党	15	17	2
国民民主党	0	9	9
参政党	0	3	3
無所属・他	6	13	7
合計	127	127	

表は4年前の選挙結果との比較です。自民党が大きく議席を減らし公明、共産両党も減らしています。一方で、国民民主党、参政党が新たに議席を確保しました。無所属の当選者の中には自民党所属となる人が複数いるようです。

自民党敗北の理由としては、国政の場での裏金問題、コメをはじめとした諸物価高騰、ガソリン暫定税率廃止法案の廃案など庶民の関心事から目をそらしたような政策推進等が挙げられ多くの票を失ってしまったようです。都議会議員にしてみると2階の火の粉が1階に落ちてきたようなものと言えるのでしょうか。まさしく国政選挙を占う前哨戦そのものということになったようです。

皆さんもこの表から参院選を予測してみてください。

■そして、参院選に突入

参議院選挙は都道府県単位の「選挙区」と全国単位の「比例区」があり2回の投票が行われます。

比例区の投票では政党名の記載も可能ですが、是非個人名で投票してください。

3年前の参院選比例区では連合が支持する立憲民主党は7人、国民民主党は3人の当選を果たしました。かつての民主党が立民、国民の2つに分裂したのは残念なことで、一つであれば合計得票数が同じでも当選者はもっと増えたはずでした。

「政治は数が力」・・・政策第一が当然ですが数がなければ何もできません。勿論、当選もできません。

私たちの仲間を国政に！皆様のご支援をよろしくお願いします。



郡山りょう

■ 事務局から

- 7月はシニアクラブ令和7年度活動の最後の月となります。梅雨時と言えど猛暑が続いた6月でしたが、酷暑の真夏が間もなくやってきます。

7月24日(木)カラオケ会を開催します。酷暑を避けて涼しい会場で皆で一緒に歌いましょう。

事務局長 田代 周